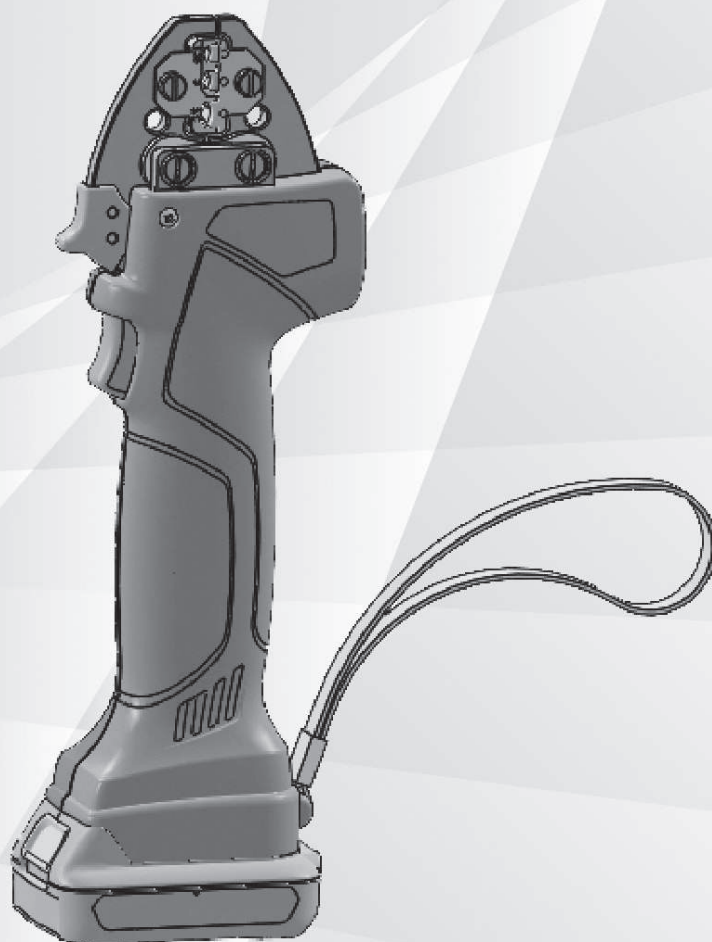


IZUMI

電動機械式多機能工具

nanoMB

取扱説明書



- このたびは電動機械式多機能工具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 本機を安全に正しくお使いいただくため、はじめにこの取扱説明書を最後までよくお読みください。お読みいただいた後は、いつでも取りだせる場所に大切に保管してください。

マクセルイズミ株式会社

ご使用前に、「安全上のご注意」(3 ページ～7 ページ)、
「電動機械式多機能工具使用上のご注意」(8 ページ) を必ずお読みください。

もくじ

安全上のご注意.....	3
電動機械式多機能工具使用上のご注意.....	8
工具使用上のご注意.....	8
バッテリーパック使用上のご注意.....	8
専用充電器使用上のご注意.....	8
各部の名称および標準付属品.....	9
バッテリーパックの充電方法.....	10
充電時間.....	10
充電のしかた.....	10
充電表示ライトについて.....	11
バッテリー残量表示ランプ.....	11
工具の使いかた.....	12
交換ダイスの取付け・取外し方法.....	12
バッテリーパックの着脱方法.....	13
モードについて.....	13
モードの切り替え方法.....	13
圧着作業.....	14
異常時のお知らせ機能について.....	16
保守・点検.....	17
修理のときは.....	18
仕様.....	19

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



実行してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



専用の充電器とバッテリーパックを使用してください。

- 工具は専用のバッテリーパックを使用してください。
- 他の充電器で本製品のバッテリーパックを充電しないでください。
破裂して事故やけがの原因になります。



正しく充電してください。

- 本製品に付属する充電器は定格表示のある電源で使用してください。
- 直流電源やエンジンの発電機では使用しないでください。
異常に発熱し火災の原因になります。
- 周囲の環境、バッテリーパック、充電器の温度が 10℃未満あるいは 40℃以上のときはバッテリーパックを充電しないでください。
破裂や火災の原因になります。
- バッテリーパックは風通しのよい場所で充電してください。
- 充電中はバッテリーパックや充電器を布などで覆わないでください。
破裂や火災の原因になります。
- 充電後は必ず電源プラグを抜いてください。
感電や火災の原因になります。
- 雨中では使用しないでください。
感電や発煙の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

警告



バッテリーパックの端子間を短絡（ショート）させないでください。

- バッテリーパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐために、必ず付属のターミナルカバーを付けてください。
釘袋等に入れ、短絡すると発煙、発火、破裂の原因になります。



バッテリーパックを火中に投入しないでください。

破裂したり有害物質が漏れ出す原因になります。



次の場合は、バッテリーパックを工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合
- その他危険が予想される場合
工具が作動してけがの原因になります。



使用中はヘッド部に顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。



必ず本取扱説明書や弊社カタログに記載されている指定の付属品を使用してください。

事故やけがの原因になります。



感電に注意してください。

- 工具は絶縁仕様ではありません。
通電箇所で使用すると感電の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグ、バッテリーパックに触れないでください。
感電の原因になります。



不意な始動は避けてください。

- スイッチに指をかけて運ばないでください。
工具が作動してけがの原因になります。



防護めがねを使用してください。

- 作業時は防護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防塵マスクも併用してください。



警告



作業場所の周囲の状況も考慮してください。

- 工具、充電器、バッテリーパックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の原因になります。
- 作業場所は十分に明るくしてください。
暗い場所で作業は事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の原因になります。



注意



作業場所はいつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は事故のおそれがあります。



子供を近づけないでください。

- 作業員以外、工具や充電器のコードに触れさせないでください。また作業場所に近づけないでください。
けがのおそれがあります。



使用しないときは、きちんと保管してください。

- 湿度の少ない場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。
事故のおそれがあります。
- 工具やバッテリーパックを、温度が40℃以上に上がる可能性のある場所（金属製の箱や夏期の車内など）に保管しないでください。
バッテリーパック劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。



無理して使用しないでください。

- 安全に効率よく作業するために、工具の能力に合った作業をしてください。
能力以上でのご使用は事故のおそれがあります。
- モーターがロックするような無理な使いかたはしないでください。
発煙、発火のおそれがあります。



作業に合った工具を使用してください。

- 指定された用途以外に使用しないでください。
けがのおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

注意

きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。
作動部、回転部等に巻き込まれるおそれがあります。
- 屋外作業の場合、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物はけがのおそれがあります。
- 長い髪は帽子やヘアカバー等で覆ってください。
作動部、回転部等に巻き込まれるおそれがあります。

無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足下をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してけがのおそれがあります。

油断しないで十分に注意して、作業を行ってください。

- 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況などに十分注意して、慎重に作業を行ってください。
軽率に作業をすると、事故やけがのおそれがあります。
- 飲酒しての作業はおやめください。
事故やけがのおそれがあります。
- 疲れていたり体調の悪いときは使用しないでください。
事故やけがのおそれがあります。

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードを踏んだり、引っかけたりして無理な力が加わって損傷しないように、充電場所には注意してください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

充電器の「冷却ファンの風穴」がゴミでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。

- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となるおそれがあります。

屋外仕様に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

 **注意****工具は注意深く手入れをしてください。**

- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。
感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- 握り部は常に乾かして、きれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
けがのおそれがあります。

**損傷した部品がないか点検してください。**

- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に、異常が無いか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電やショートして発火するおそれがあります。
- 部品交換や修理は取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- トリガレバーの操作で始動および停止操作のできない工具は使用しないでください。
異常動作してけがをするおそれがあります。

**工具の修理はお買い求めの販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。**

- 本体、充電器、バッテリーパックを分解したり、修理・改造を行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
- 工具が熱くなったり、異常に気がついたときは点検修理に出してください。
- 本製品は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。
修理の知識や技術のない方が修理なさいますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

電動機械式多機能工具使用上のご注意

■ 本工具を使用する際、次に記載する注意事項もお守りください。

工具使用上のご注意

- 本工具の寿命は 30,000 回を目安として設計しております。
- 本工具に適用する作業以外の用途に使用しないでください。適用するダイス以外を口金に挿入して操作すると工具が破損するおそれがあります。
- 本工具を短時間に連続で操作し、モータおよびバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します（自動ランプ【緑】、動作ランプ【赤】、手動ランプ【青】が点灯）。この場合は、使用を中断して本工具およびバッテリーを冷ましてからご使用ください。
- 圧着する電線、端子（スリーブ）ダイスの組み合わせは、誤りのないようにしてください。組み合わせを間違えると接続性能上悪影響を生じます。また故障等の原因にもなりますので、十分注意してください。
- 口金（歯型部）には大きな力が発生しますので、指を口金に挟まないように注意してください。
- 使用中、本機の調子が悪かったり異常音がしたときは、使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、破損や亀裂、変形がないかをよく点検してください。そのまま使用するとけがの原因になります。

バッテリーパック使用上のご注意

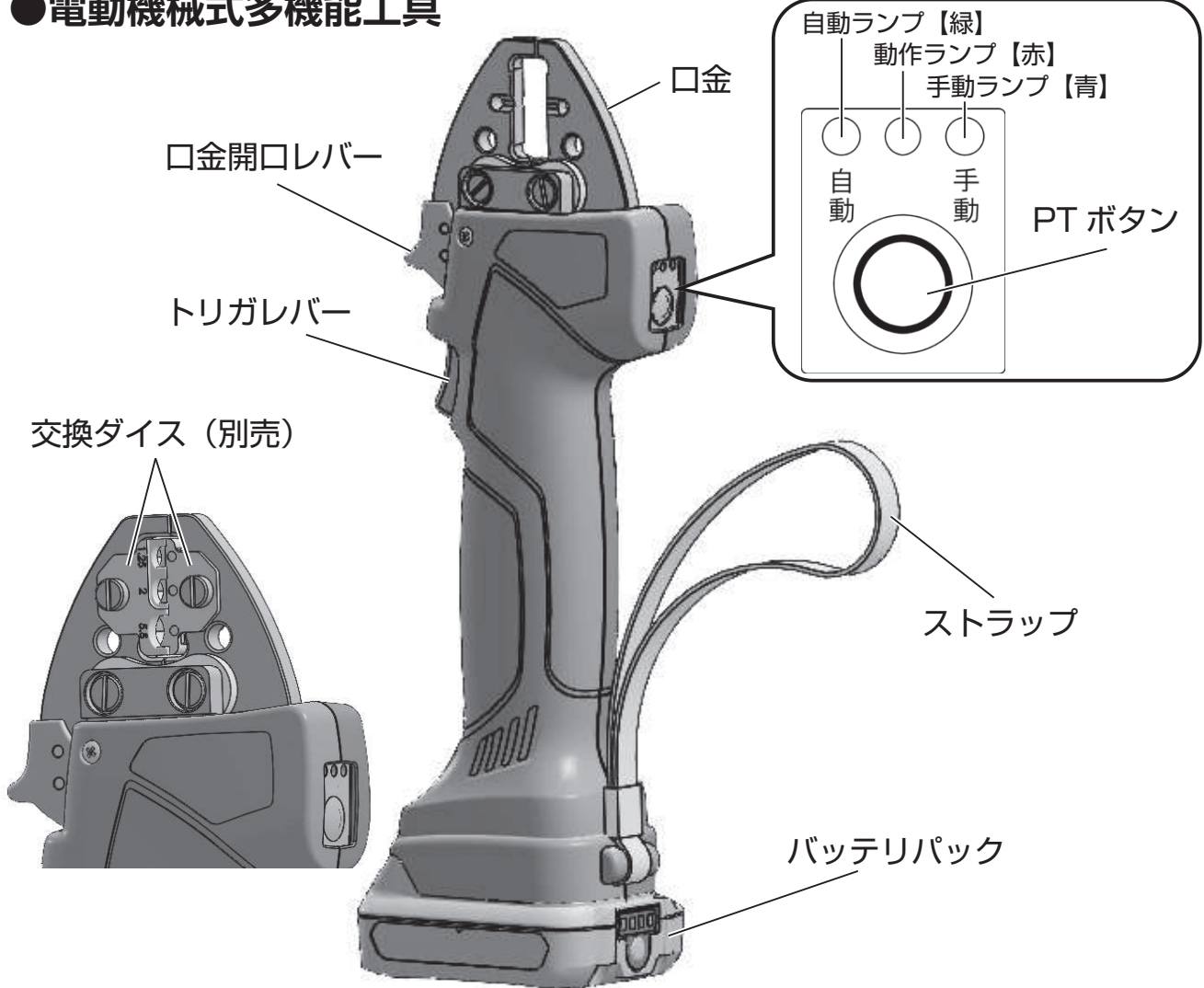
- 端子は絶対に短絡（ショート）しないでください。
- 水や油、有機溶剤がかからないようにしてください。
- 分解や改造はしないでください。
- 廃棄する場合、火の中への投入や、一般ゴミとして廃棄しないでください。（弊社ではリサイクルを推進しています。（18 ページ参照））
- 投げたり、落としたりしないでください。
- 40℃以上の高温の場所に長時間放置しないでください。
- バッテリーパックの金属端子部にゴミやホコリが付着していると、接触不良となり故障の原因になります。また金属端子部に腐食が発生した場合は使用しないでください。
- バッテリーパックの寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。本工具を使用中、トリガレバーを押した状態でも電池残量が少なくなると、モーターが停止する場合がありますが、保護機能によるもので故障ではありません。このような場合は速やかに充電してください。
- バッテリーパックを購入後 3 カ月以上使用しない場合は、一度充電してから保管してください。その後は 6 カ月に 1 回の頻度で充電をおこなって保管してください。バッテリー残量が少ない状態での長期保管はバッテリーパックに悪影響を与えるおそれがあります。

専用充電器使用上のご注意

- 本充電器は充電表示ライト（赤、緑）により充電状態を表示します。（11 ページ参照）
- 充電器の金属端子部にゴミやホコリが付着していると接触不良となり故障の原因になります。また金属端子部に腐食が発生した場合は使用しないでください。

各部の名称および標準付属品

●電動機械式多機能工具



各部の名称および標準付属品

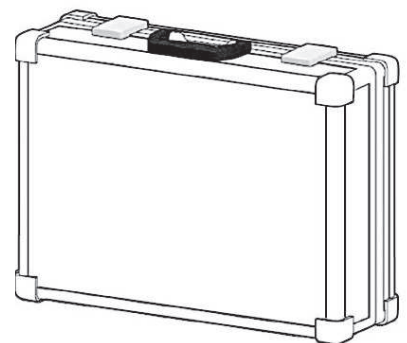
●バッテリーパック BL1020B



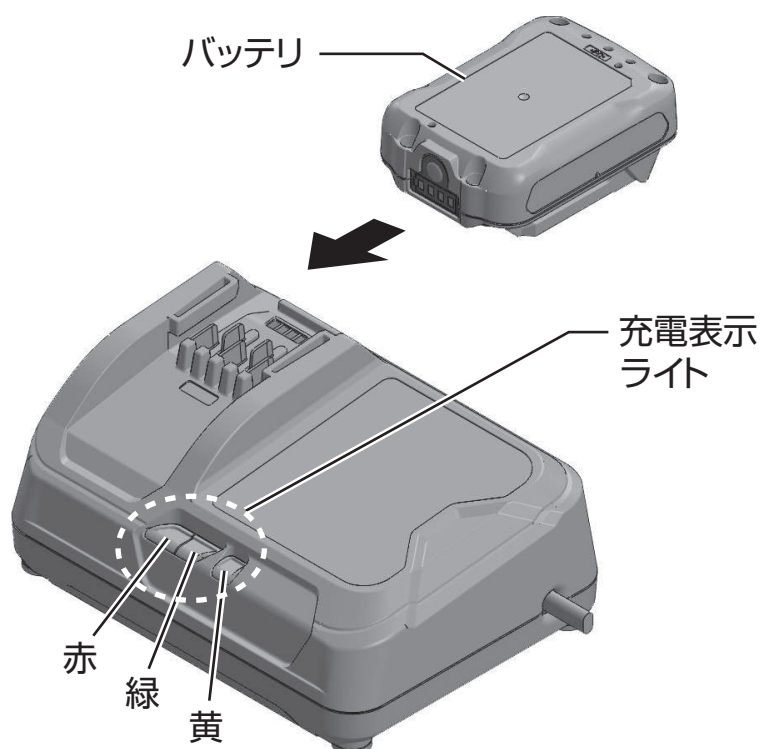
●充電器 JPADC10SA



●キャリングケース



バッテリーパックの充電方法



※お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電時間

BL1020B (標準バッテリー)

30分

充電時間は、周囲温度 (10℃～40℃) やバッテリーの状態 (新品、長期保存しているバッテリーや寿命に近いバッテリーなど) により変動します。

充電のしかた

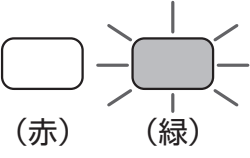
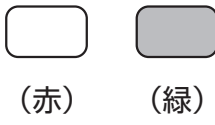
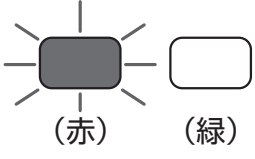
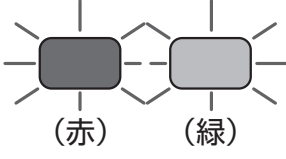
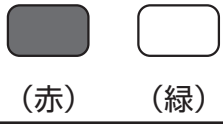
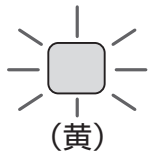
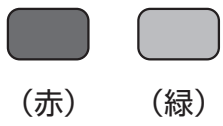


- 1 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

⚠ 注意 直流電源やエンジン発電機に接続しないでください。

- 2 バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
- 3 バッテリーを挿入すると充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
充電完了後、すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

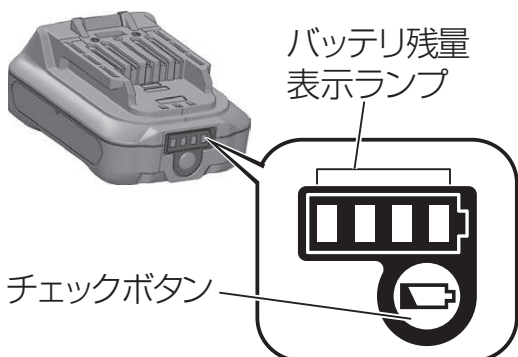
- 4 バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電表示ライトについて



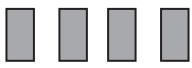
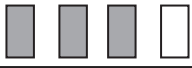
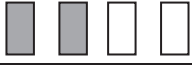

ライトの状態	表示内容	ライトの状態	表示内容
(通常充電のとき)		(通常充電のとき)	
 (赤) (緑)	充電前 コンセントに電源プラグを差し込んだ状態です。	 (赤) (緑)	充電完了
 (赤) (緑)		(異常時)	
		 (赤) (緑)	充電不可 「赤・緑 1 個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
 (赤) (緑)	充電中 バッテリー容量約 0 ~ 80 % を示します。	 (黄)	冷却異常 冷却ファンの故障または冷却不足です。
 (赤) (緑)	80% 充電 バッテリー容量約 80 ~ 100 % を示します。 (80% 充電表示は、おおよその目安です。バッテリーの温度・状態により変動します。)		
		 : 充電表示ライトの点滅状態を表します。  : 充電表示ライトの消灯を表します。	

バッテリーパックの充電方法

バッテリー残量表示ランプ



チェックボタンを押すと、バッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。

バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
 : 点灯	 : 消灯	
		75%~100%
		50%~75%
		25%~50%
		0%~25%

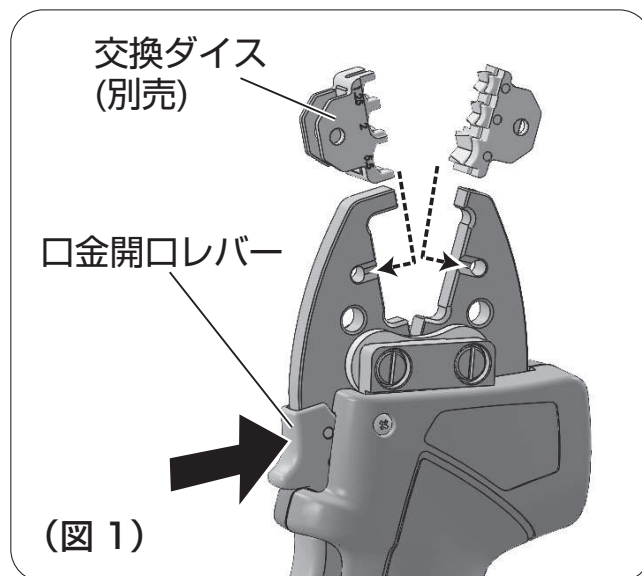
注意 正しい充電をしても、バッテリーパックの使用時間が著しく低下してきたときは、バッテリーパックの経済寿命とお考えいただき、新しいバッテリーパックと交換してください。

工具の使いかた

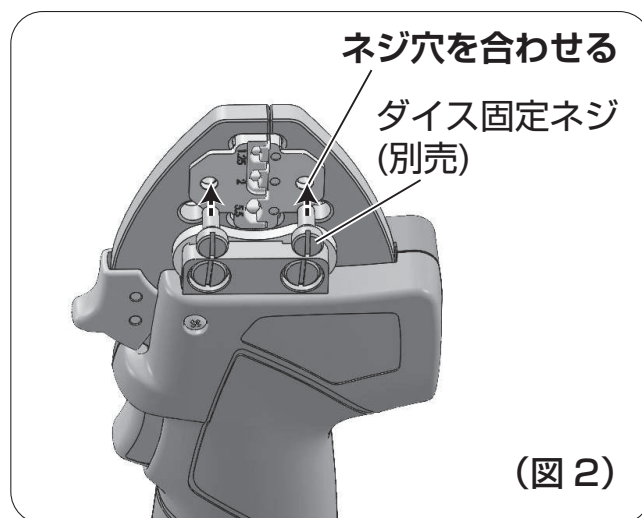
交換ダイスの取付け・取外し方法

⚠ 警告 ダイスの取付け・取外しは、必ずバッテリーパックを本体から取り外してから行ってください。誤作動した場合に事故やケガの原因になります。

- 1** 口金開口レバーを操作し、口金を開いてから交換ダイスを口金に挿入します。(図1)

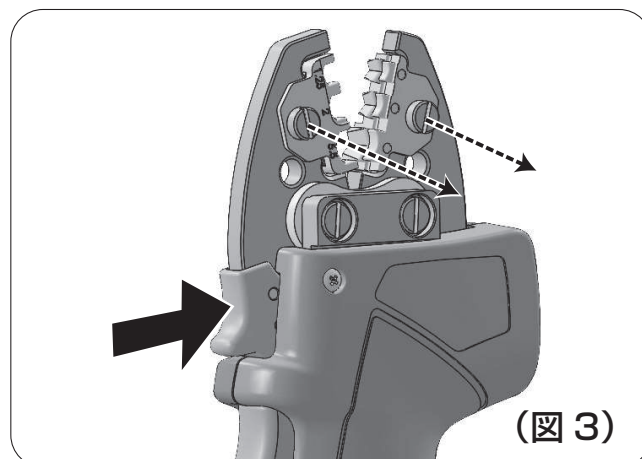


- 2** 口金を閉じて、口金と交換ダイスのネジ穴を合わせ、マイナスドライバーを使用してダイス固定ネジをねじ込みます。(図2) このとき、口金と交換ダイスのネジ穴が合わない場合は、ダイスの取付け向きが反対ですので、逆向きに取付け直してください。



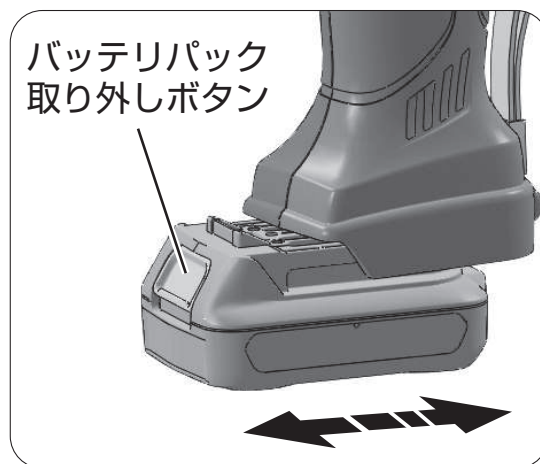
- 3** 口金開口レバーを操作し、口金がスムーズに開閉するか確認してください。

- 4** 交換ダイスの取外しは、口金開口レバーを押して口金動かないように固定した後、マイナスドライバーでダイス固定ネジを緩めてください。(図3)



バッテリーパックの着脱方法

- 1 バッテリーパックを取りはずすときは、バッテリーパック取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。
- 2 装着は本機の溝に合わせながらスライドさせ「カチッ」と音がするまで挿入してください。



モードについて

本工具は、圧着作業完了後に口金が自動で開く「自動モード」と圧着作業完了後に口金が閉じた状態で完了する「手動モード」の2種類のモードがあります。

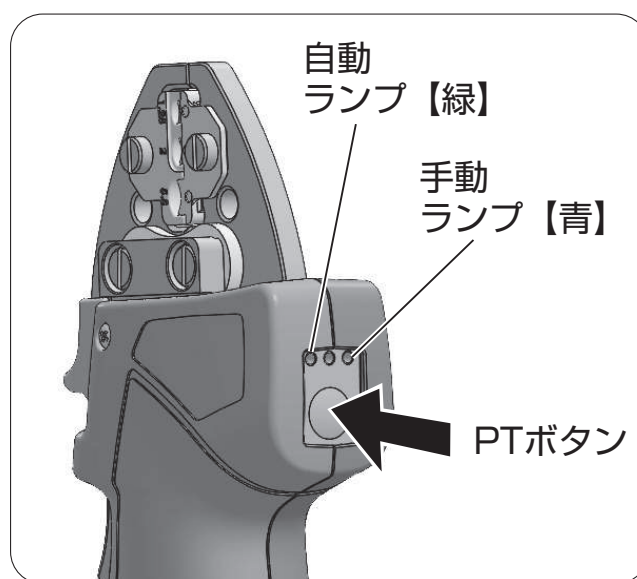
自動モードは圧着完了後に口金が自動で開きますので、端子の取り外しが容易に行えます。

手動モードは圧着完了後に口金が閉じた状態で、端子を把持していますので端子や電線から手を放しても端子が脱落しません。圧着完了後は口金開口レバーを押して端子を取り外してください。

※出荷時は手動モードに設定されています。

モードの切り替え方法

- 1 本体にバッテリーパックを装着し、PT ボタンを押します。
- 2 操作パネルの自動ランプ【緑】または手動ランプ【青】のいずれかが点灯し、現在のモードを表示します。
- 3 この状態でPT ボタンを3秒以上長押ししてください。現在のモードで点灯しているランプと逆のモードのランプに点灯が切り替わるとモードが切り替わります。



工具の使いかた

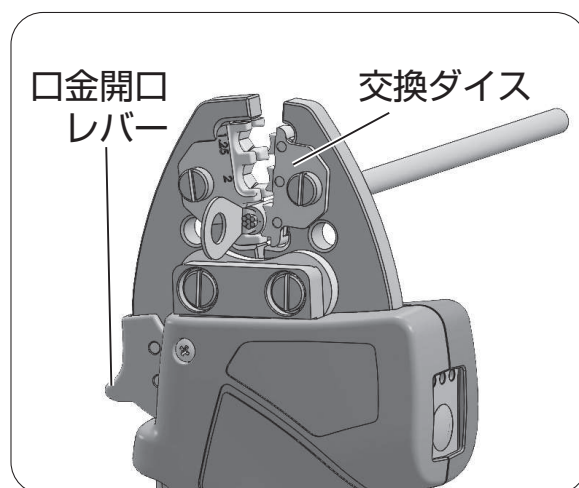
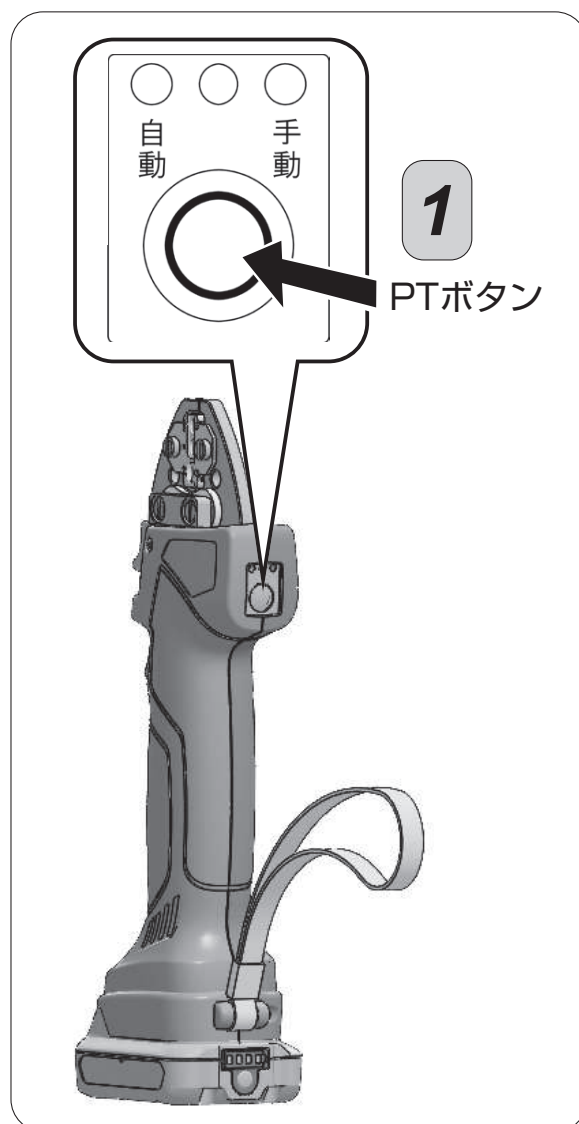
⚠ 注意

圧着作業の途中および口金が開いている状態ではモードの切り替えを行うことができません。圧着作業を完了して（自動モードのときは圧着完了後にトリガレバーを押して口金を閉じて）からモードの切り替えを行ってください。

工具の使いかた (つづき)

圧着作業

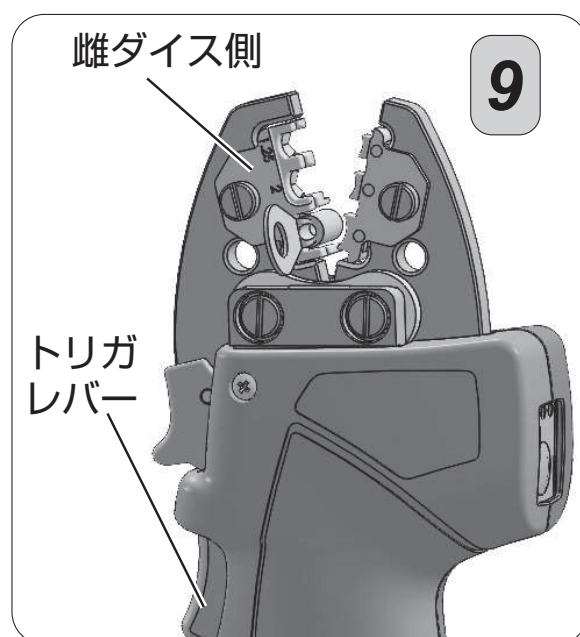
- 1** バッテリパックを本体に装着し、PT ボタンを押して電源を入れます。
- 2** 電源が入ると自動ランプ【緑】または手動ランプ【青】が点灯します。電源が入ってから 60 秒操作が行われないと電源が切れますので、電源が切れた場合は、再度 PT ボタンを押して電源を入れてください。
- 3** 操作 2 の状態でモードの切り替え行う場合は、P13 の「モードの切り替え方法」の手順に従いモードを切り替えます。(PT ボタンを 3 秒以上長押しする)
- 4** 各ダイス (別売品) の取扱説明書に記載の「端子 (スリーブ) と電線の組み合わせ表」により圧着接続する端子 (スリーブ) と電線を選定します。
- 5** 口金開口レバーを押して交換ダイスに選定した端子 (スリーブ) を把持してください。



圧着作業（つづき）

- 6 電線を挿入します。
- 7 トリガレバーを操作し、圧着が完了（モータが停止）するまでトリガレバーを押し続けてください。
- 8 圧着が完了（モータ停止）したらトリガレバーを離してください。再度モータが動き、自動モードは口金が開いて停止しますのでそのまま端子を取り外してください。手動モードは端子を把持した状態で停止しますので口金開口レバーを押して端子を取り外してください。
- 9 自動モードは、トリガレバーを押すと口金が開きます。このときに次に圧着する端子（スリーブ）を雌ダイス側の歯型部に挿入してからトリガレバーを押すと、口金が開けると同時に端子（スリーブ）が把持されますので、2回目以降の作業は**操作 6** から再開することができます。

注意 圧着完了時は、口金先端がタッチしているか確認してください。口金先端がタッチしていないと、接続性能が満足しない場合があります。この場合は、使用をやめ修理を依頼してください。



工具の使いかた

■ 圧着作業の途中で自動停止した場合

圧着作業の途中で自動的に作動が停止した場合は、動作ランプ【赤】が10秒間点滅した後、電源がOFFになります。このような場合には以下の原因が考えられます。

- 端子（スリーブ）と電線の組合せが間違っている。
- 圧着箇所が間違っている。
- 端子（スリーブ）または電線が適用外
- 連続使用による高温異常→冷めるまで休止してください。








上記に問題が無い場合は工具に異常がありますので、お買い求めの販売店、弊社営業所へお問い合わせください。

■ 圧着作業を中断したい場合

端子（スリーブ）と電線の組合せの間違い、圧着箇所の違い、異物の混入等の理由で圧着作業を途中で中断したい場合は、PT ボタンを押してください。圧力を開放することができます。（強制戻し操作）

工具の使いかた（つづき）

異常時のお知らせ機能について

LED の表示パターン	表示タイミング	意味／対処
赤色  電源 OFF まで継続点灯	作動中 バッテリー容量が少なくな ったとき	バッテリー残量が少ない ⇒バッテリーパックを充電し てください。
赤色 ● ● 5 秒点滅	作動中 バッテリー容量が 終了したとき	バッテリー容量が終了 ⇒バッテリーパックを充電し てください。 注） 圧着途中で停止した場 合は、圧着不足の端子（ス リーブ）は使用せず、作業 をやり直してください。
赤色 ● ● ● ● 10 秒点滅	作動中⇒停止	圧着が完了しない状態で 自動停止 ⇒過負荷が原因とされる異 常ですので使用方法（端子 と電線の組合せ、圧着位置 等）に間違いがないか確認 してください。 ⇒工具本体が高温状態での 異常ですので、正常な温度 に下がるまでお待ちくださ い。
緑色  赤色  青色  5 秒間点灯	作動終了時 または 作動開始時	バッテリーが高温状態 ⇒正常な温度に下がるまで お待ちください。
緑色  赤色  青色  10 秒間点灯	作動終了時 または 作動開始時	工具本体が高温状態 ⇒正常な温度に下がるまで お待ちください。
緑色 ● ● ● ● 赤色 ● ● ● ● 青色 ● ● ● ● 10 秒点滅	作動中⇒停止	工具に異常があるため修理 が必要 ⇒お買い求めの販売店また は弊社営業所へ修理を依頼 してください。

保守・点検

- 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障原因になりますので注意してください。
- 工具の円滑な作動およびさびの発生を防ぐため、湿気を避けて保管してください。
- 工具が通常使用（作動 30,000 回以上）で破損した場合は、耐久限度ですので破損部品のみを交換して、再度使用することはおやめください。
- 樹脂部分が汚れた場合は、せっけん水を柔らかい布につけて拭き取ってください。
- バッテリーパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐために、必ず付属のターミナルカバーを付けてください。
- 部品の劣化により、性能を十分に発揮できないことがありますので、製品の寿命まで安心してご使用いただくために、作動 10,000 回または 1 年に 1 回の目安でメーカーメンテナンスにお出しいただくことをおすすめいたします（有償）。詳しくはお買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

修理のときは

工具本体は厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

工具本体には分解の形跡を判別するための保証シールが貼り付けてあります。このシールをはがすと、保証期間中であっても有償修理となることがありますのでご注意ください。

またバッテリーパックが使用不能状態になり、廃棄処分する場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所にご持参いただくかお問い合わせください。

その他、別売品のご購入やカタログの請求、取扱い上でお困りの点などがございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

バッテリーパックはリサイクルへ

弊社はバッテリーパックのリサイクルを推進しています。ご使用済みのバッテリーパックを工具本体から取りはずし、短絡（ショート）防止のため端子部に絶縁テープを貼って、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお出してください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

仕様

電動機械式多機能工具	nanoMB
公称出力	最大 15 kN
電動機	10.8V DC モータ
外形寸法	102 mm (長さ) × 64 mm (幅) × 278 mm (高さ)
質量	0.93 kg (バッテリーパック含む)

バッテリーパック	BL1020B (標準)
電池名称	リチウムイオン電池
公称電圧	直流 10.8 V
定格容量	2.0 Ah
充電時間	30 分
質量	0.21 kg

充電器	JPADC10SA
入力電圧	単相交流 100 V 50/60 Hz
入力容量	80 W
出力電圧	直流 10.8 V
出力電流	直流 5 A
外形寸法	120 mm (長さ) × 73 mm (高さ) × 163 mm (幅)
質量	0.63 kg

マクセルイズミ株式会社

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無料で修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げ販売店に商品と **IZUMI** 保証書をご持参いただきお申しつけください。
 - ②お買い上げ販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの弊社営業所にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - ③火災、地震、水害、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - ④過負荷及び誤圧による故障または損傷。
 - ⑤工場でのライン作業等の連続長時間使用による故障及び損傷。
 - ⑥本保証書のご提示がない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本保証書は、日本国内において有効です。
4. 本保証書は再発行しません。

保証書



本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、裏面をご参照ください。

型式 (商品名)		nanoMB	
お客様	お名前	参照用	
	ご住所 〒		
		☎ () -	
お買い上げ日		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より12カ月間 ※期間内に作動回数30,000回を 超えた場合は保証対象外になります。	
取扱販売店名、住所、電話番号			
サービス履歴	年月日	サービス内容	担当者
	年 月 日		
	年 月 日		

マクセルイズミ株式会社

本社

〒399-8721
長野県松本市大字笹賀3039番地
TEL 0263-58-5757(代)
FAX 0263-86-1002

東京

〒151-8527
東京都渋谷区元代々木町30-13
TEL 03-6891-2111(代)
FAX 03-6891-1700

大阪

〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場2-1-10
(CARP南船場第1ビル 9階)
TEL 06-7663-0667(代)
FAX 06-7663-0668

福岡

〒812-0008
福岡県福岡市博多区東光2丁目22-30
TEL 092-483-5700(代)
FAX 092-483-5704

名古屋

〒465-0034
名古屋市名東区高柳町207番地
TEL 052-775-5388(代)
FAX 052-776-2163

仙台

〒984-0032
宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8
TEL 022-287-1761(代)
FAX 022-287-1768



マクセルイズミ株式会社

本 社

〒399-8721
長野県松本市大字笹賀3039番地
TEL 0263-58-5757 (代)
FAX 0263-86-1002

福岡

〒812-0008
福岡県福岡市博多区東光2丁目
22-30
TEL 092-483-5700 (代)
FAX 092-483-5704

東京

〒151-8527
東京都渋谷区元代々木町30-13
TEL 03-6891-2111 (代)
FAX 03-6891-1700

名古屋

〒465-0034
名古屋市名東区高柳町207番地
TEL 052-775-5388 (代)
FAX 052-776-2163

大阪

〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場2-1-10
(CARP 南船場第1ビル9階)
TEL 06-7663-0667 (代)
FAX 06-7663-0668

仙台

〒984-0032
宮城県仙台市若林区荒井一丁目
21番地の8
TEL 022-287-1761 (代)
FAX 022-287-1768